電気料金メニュー判定フローチャート

■上から順に各項目について当てはまるものを選択していただくことで，適用可能な電気料金メニューを確認することができます。
※本フローチャートは低圧申込みの代表例を記載しています。
■契約容量･電力の算定方法については，「(参考) 契約容量等の算定方法」をご参考にしてください。

① 電灯／動力 どちらのお申込みでしょうか

- 電灯
  - ② 1年以上ご使用される予定でしょうか
    - 1年以上
      - ③ どういった用途でご使用されますか
        - 一般用（例：集合住宅の共用灯，看板等，住宅，商店等）
          - ⑤ 使用する機器の容量はどの程度でしょうか
            - 負荷設備総容量 400VA以下
              - ⑥ 夜間蓄熱式機器はありますか
                - なし → 定額電灯
                - あり → 定額電灯
            - 最大需要容量 6kVA未満（例：集合住宅の共用灯，看板等等）
              - 【注 意】単体で入力容量が6kVA以上の機器がある場合や同時に使用する合計容量が6kVA以上となる場合，「契約容量6kVA以上」を選択してください。
              - ⑥ 夜間蓄熱式機器はありますか
                - なし → 定額電灯
                - あり → 定額電灯
            - 契約容量 6kVA以上
              - ⑥ 夜間蓄熱式機器はありますか
                - なし → 従量電灯B（主開閉器契約／負荷設備契約）
                - あり → 電化Styleコース（主開閉器契約／負荷設備契約）
        - 公衆用（例：道路や橋の照明、公園の防犯灯，交通信号灯等）
          - ⑤ 使用する機器の容量はどの程度でしょうか
            - 負荷設備総容量 1kVA未満 → 公衆街路灯A（定額制）
            - 負荷設備総容量 6kVA未満 → 公衆街路灯B
            - 負荷設備総容量 6kVA以上 → 公衆街路灯C
    - 1年未満
      - ③ どういった用途でご使用されますか
        - 一般用（例：集合住宅の共用灯，看板等，住宅，商店等）
          - ⑤ 使用する機器の容量はどの程度でしょうか
            - 負荷設備総容量 400VA以下
              - ⑥ 夜間蓄熱式機器はありますか
                - なし → 定額電灯
                - あり → 定額電灯
            - 最大需要容量 6kVA未満（例：集合住宅の共用灯，看板等等）
              - 【注 意】単体で入力容量が6kVA以上の機器がある場合や同時に使用する合計容量が6kVA以上となる場合，「契約容量6kVA以上」を選択してください。
              - ⑥ 夜間蓄熱式機器はありますか
                - なし → 定額電灯
                - あり → 定額電灯
            - 契約容量 6kVA以上
              - ⑥ 夜間蓄熱式機器はありますか
                - なし → 従量電灯B（主開閉器契約／負荷設備契約）
                - あり → 電化Styleコース（主開閉器契約／負荷設備契約）
        - 公衆用（例：道路や橋の照明、公園の防犯灯，交通信号灯等）
          - ⑤ 使用する機器の容量はどの程度でしょうか
            - 負荷設備総容量 1kVA未満 → 公衆街路灯A（定額制）
            - 負荷設備総容量 6kVA未満 → 公衆街路灯B
            - 負荷設備総容量 6kVA以上 → 公衆街路灯C
        - 負荷設備総容量 3kVA未満 → 臨時電灯A（定額制）
        - 最大需要容量 6kVA未満 → 臨時電灯B
        - 契約容量 6kVA以上 → 臨時電灯C（主開閉器契約／負荷設備契約）

【備 考】
従量電灯Bの新設申込の際に負荷設備が未定の場合，正しい契約容量を算定できません。
そのため，負荷設備が未定の場合は，主開閉器契約でお申込みをいただますようお願いいたします。

- 動力
  - ② 1年以上
    - 毎年一定の期間のみ使用される場合もこちらを選択してください。
    - 一般用 → 低圧電力（主開閉器契約／負荷設備契約）
    - 農事用 かんがい排水 → 農事用電力A（主開閉器契約／負荷設備契約）
    - 農事用 脱穀調整
      - 契約電力 5kW以下 → 農事用電力B（定額制）（主開閉器契約／負荷設備契約）
      - 契約電力 5kW超過 → 農事用電力B（従量制）（主開閉器契約／負荷設備契約）
    - 農事用 育苗栽培
      - 契約電力 5kW以下 → 農事用電力C（定額制）
      - 契約電力 5kW超過 → 農事用電力C（従量制）
  - 1年未満
    - 契約電力 5kW以下 → 臨時電力（定額制）（主開閉器契約／負荷設備契約）
    - 契約電力 5kW超過 → 臨時電力（従量制）（主開閉器契約／負荷設備契約）

電気料金メニュー

□ ： 契約決定方法
（契約容量・電力を決める方法）

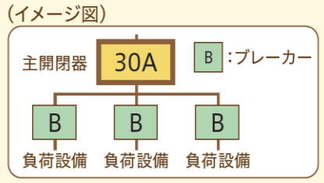
- スマートコース
  月間ご使用量400kWh以下
  最も一般的なご家庭
- シンプルコース
  月間ご使用量400kWh超過
  ご家族が多いご家庭，
  昼間は家にいることが多いお客さま
- ナイトホリデーコース
  月間ご使用量400kWh超過
  昼間は不在がちで夜間・休日に多く使用されるご家庭等
- 電化Styleコース
  電化住宅のお客さま
- ナイトホリデーコース
  一人暮らし等ご使用量が比較的少ないお客さま

(参考) 契約容量等の算定方法

従量電灯Ｂ，臨時電灯Ｃ

契約容量の具体的な算定方法

(イメージ図)



[主開閉器契約]

多くの負荷設備を同時使用しないため，小容量の主開閉器を設置されている
お客さまにおすすめです。

主開閉器の定格電流(A)×電圧(V)×1/1,000
(注)供給電気方式が単相3線式の場合の電圧は200V

[負荷設備契約]

多くの負荷設備を同時使用されるため，大容量の主開閉器を設置されているお客さまにおすすめです。
① 契約負荷設備の総容量(入力)を算定します。
・総容量の算定にあたっては実際に必要な電気エネルギーである入力値(VA)に換算します。
② 総容量に電気特定小売供給約款に定める所定の係数を乗じて契約容量を算定します。

(契約容量算定例)
方式：単相3線式
電圧：200V
主開閉器定格電流：60A
負荷設備：蛍光灯(低力率)40W×30灯　白熱灯60W×50灯　エアコン2,400W×4台

＜主開閉器契約の場合＞
60A×200V×1/1,000＝契約容量12kVA

＜負荷設備契約の場合＞
① 契約負荷設備の総容量(入力)の算定
蛍光灯(低力率)：40W(入力換算値80VA)×30＝2,400VA
白熱灯：60W(入力換算値60VA)×50＝3,000VA
エアコン：2,400W(入力換算値2,400VA)×4＝9,600VA
合計：15,000VA＝15kVA
②総容量に所定の係数を乗じて契約容量を算定
6kVA×95%＝5.7kVA ……A
(15kVA-6kVA)×85%＝7.65kVA ……B
A＋B＝5.7kVA＋7.65kVA＝13.35kVA(1kVA未満四捨五入)
よって契約容量は13kVAとなります。

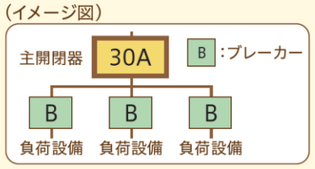
電気特定小売供給約款に定める係数

最初の6kVAにつき	95%
次の14kVAにつき	85%
次の30kVAにつき	75%
50kVAを超える部分につき	65%

低圧電力，臨時電力，農事用電力Ａ・Ｂ

契約電力の具体的な算定方法

(イメージ図)



[主開閉器契約]

多くの負荷設備を同時使用しないため，小容量の主開閉器を設置されている
お客さまにおすすめです

主開閉器の定格電流(A)×電圧(V)×1.732×1/1,000

[負荷設備契約]

多くの負荷設備を同時使用されるため，大容量の主開閉器を設置されているお客さまにおすすめです
① 契約負荷設備の各入力を算定します。
出力で表示されている場合は，以下の換算率を乗じ，実際に必要な電気エネルギーである入力に換算します。

出力表示	馬力による場合	93.3%
換算率	kWによる場合	125%

② 電気特定小売供給約款に定める所定の係数を乗じ，契約電力を算定します。

(契約電力算定例)
方式：3相3線式
電圧：200V
主開閉器定格電流：30A
使用する負荷設備：出力2.2kW，3.7kW，5.5kWの3相モーター各1台使用

＜主開閉器契約の場合＞
30A×200V×1.732×1／1,000＝10.392kVA(1kW未満四捨五入)
よって，契約電力は10kWとなります。

＜負荷設備契約の場合＞
①契約負荷設備の各入力を算定
2.2kW×125%＝2.75kW　3.7kW×125%＝4.625kW
5.5kW×125%＝6.875kW
② 契約負荷設備の各入力に所定の係数を乗じて契約電力を算定
(イ) 最大の入力のものから最初の2台は100%で算定
6.875kW×100%＝6.875kW ……A
4.625kW×100%＝4.625kW ……B
最大の入力のものから3・4台目は95%に圧縮 ……C
2.75kW×95%＝2.6125kW
A＋B＋C＝14.1125kW
(ロ) 最初の6kWについては　6kW×100%＝6kW ……D
次の14kWについては　(14.1125kW－6kW)×90%＝7.30125kW …E
D＋E＝13.30125kW(1kW未満四捨五入)
よって，契約電力は13kWとなります。

(※)電気特定小売供給約款の抜粋
(イ)台数圧縮
契約負荷設備の各入力に次の係数を乗じて
台数圧縮を行ないます。

最大の入力のものから	最初の2台の入力につき	100%
	次の2台の入力につき	95%
	上記以外のものの入力につき	90%

(ロ)容量圧縮
台数圧縮後の数値に対して，次の係数を乗じて
容量圧縮を行ないます。

最初の6kWにつき	100%
次の14kWにつき	90%
次の30kWにつき	80%
50kWを超える部分につき	70%